

# 平成23年度 立川市立立川第五中学校 学校経営計画

校長 國 島 健 二

## I 平成23年度 学校経営計画の概要

### 1 目指す学校

#### 【目指す学校像】

- 「安心して通わせられる学校」 — 安全で快適な教育環境を提供 —
- 「確かな学力と社会性を身に付けさせてくれる学校」 — 公立学校の役割をしっかりと果たす —

#### 【目指す生徒像】 — 学校教育目標

- 自ら進んで勉強する人になろう (知育)
- ◎ あたたかい思いやりのある人になろう (徳育)
- よいことは進んで実行する人になろう (徳育)
- 心身ともに健康な人になろう (体育)

#### 【目指す教師像】

- 立川五中を愛する
- 一時間一時間の授業を大切にする
- 生徒一人一人の個性を尊重する

### 2 教育活動の目標とその方策

#### 【学習指導】

中期的目標	目標と具体的な方策
確かな学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒が「分かった・できた」という実感 + 意欲と自信がもてる授業の展開</li> <li>* 「授業改善推進プラン」の検証 → 授業改善推進プランの修正(夏季休業中)</li> <li>→ 指導方法の工夫・改善 — 全体授業研究を年5回実施 ~ 校内研究の取組と連動</li> <li>* 生徒による学習評価(授業改善アンケート)を実施(年2回)</li> <li>→ 「分かりやすい授業」と回答する生徒を80%以上実現</li> </ul>
指導と評価の一体化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒のやる気を引き出す評価の在り方の工夫</li> <li>* 「評価説明資料」を作成・配布 → 前期・後期末に保護者通知</li> <li>* 教科内で評価に関する情報の共有化 ← 教科部会の定期開催(月1回)</li> </ul>
家庭における学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 具体的な家庭学習の在り方について指導を展開</li> <li>→ 「家庭学習のしおり」を作成 → 生徒(保護者)に配布(7月)</li> </ul>

#### 【生活指導】

社会性の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活指導の充実 → 校内生活の安定</li> <li>* 「問題行動に対する基本的な対応」(新ガイドライン)に基づく指導の展開</li> <li>→ 保護者との連携強化 + 「別室学習」を通しての教室復帰</li> <li>* 関係諸機関や地域との行動連携の強化 — 問題行動の未然防止・早期対応</li> <li>→ サポートチーム会議(年4回・5中校区関係小学校の副校長・生活指導主任参加)</li> <li>○ 社会奉仕体験活動の内容充実 → 自己有用感・豊かな心の醸成</li> <li>* 部活動生徒による地域清掃 — 毎日実施</li> <li>* 地域清掃・ユニセフ募金等の計画的実施 — 小中合同実施を計画</li> </ul>
基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 基本的な生活習慣の確立 → 全教員による登校(校門)指導を実施(学期2回以上)</li> <li>◆ 関係者評価の肯定的評価を80%実現</li> </ul>

いじめや不登校生徒に対する適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>* いじめに関する定期的なアンケートの実施(年2回) → 早期発見・早期対応の実現</li> <li>○ 教育相談体制の充実 — 教育相談コーディネーターを中心とする組織的な対応</li> <li>— SC や SSW や登校支援員・ハートフルフレンド「個別適応計画書」の活用</li> <li>→ 個に応じた教育相談活動の充実 → 不登校生徒の出現率の抑制 (30%)</li> </ul>
安全な教育環境の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「安全対策チェックリスト」を作成 → 事故の未然防止(校外学習等)</li> <li>* 年間計画に基づく安全指導・避難訓練の計画的実施</li> <li>* 校舎内の安全点検 — 全教員による毎日の点検活動(勤務時間終了以降16:35～)</li> </ul>

### 【保護者・地域等との連携】

関係小学校との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 小学校6年生対象の「体験授業」を実施(2月)</li> <li>* 小学校5・6年生対象の部活動体験を実施(夏季休業中) — 都スポーツ教育推進校</li> <li>* 関係小生活指導主任連絡会(年4回)を開催→生活のきまりや授業規律等の共通実践</li> <li>* 小中合同地域清掃(11月)・小中合同ユニセフ街頭募金活動(12月)等の内容充実</li> </ul>
保護者との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「学校支援ボランティア制度」を継続— 地域人材や保護者の教育力を積極的に活用</li> <li>* 関係者評価を実施(年2回) → 学校経営の改善に活用</li> <li>* 保護者会・授業参観等の内容充実→開催曜日の工夫(土曜開催・年7回)→出席率向上</li> </ul>

### 【その他】

経営組織の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大規模校としての組織的な対応力の向上</li> <li>* 職層と職責の整合性 → 主幹教諭・主任教諭の活用</li> <li>○ 円滑な校務運営の実現</li> <li>* 経営会議(管理職・分掌学年主任) &lt;毎朝&gt;・企画調整会議(週1回)の内容充実</li> <li>○ 副校長の補佐機能の強化 → 学校経営支援部・副校長補佐の新設+教務・生活指導主任 — 所属学年なし 学年主任 — 分掌担当なし</li> <li>○ 「起案日程一覧」の作成(教務主任) → 適正な進行管理</li> </ul>
OJT の実施体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 若手教員(1年次～4年次)の育成</li> <li>→主任教諭をOJT責任者に指名 — 担当するOJT対象者と役割を明確化</li> </ul>

## II 研究校指定の概要

<p>平成22・23年度 立川市教育委員会 研究協力校</p> <p>【 研究主題 】</p> <p>「自己肯定感を高める教育活動の推進」 — 確かな学力の定着を図る指導の工夫 —</p> <p>教科指導の中で「分かった・できた」という体験を積み重ね、生徒の自己肯定感を高めることにより、落ち着いた学校生活や学習への意欲が高まるのではないかと。</p> <p>→ 確かな学力の定着に力点を置いた実践的な取組</p> <p>【 2年間の研究で目指すもの 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習活動における自己肯定感の向上を目指す実践授業の報告</li> <li>○ 評価説明資料の内容検討とより良い活用方法及びその効果の報告</li> </ul> <p>【 今年度の主な取組 】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「自己肯定感と学習」に関する実態調査の実施(2回実施)</li> <li>2 全教科の校内研究授業を実施し、指導方法の工夫・改善を図る <ul style="list-style-type: none"> <li>— ① 授業の見通しの提示(視覚的に提示) ② 表現活動の取り入れ</li> <li>→ 全教科で日常の授業の中でも実践</li> </ul> </li> <li>3 研究発表会 平成24年1月23日(月)</li> </ol>
---

